

マッケンジー・ソープさんの作品「ハチさん見つけた!」

# マッケンジー・ソープさん 愛 希望あふれる絵画展 9、10日に門川さくらんぼ保育園

ディスプレイという学習障害を乗り越え、愛や希望のメッセージを込めて世界的に活躍しているイギリス人画家マッケンジー・ソープさんの絵画展が9、10日、門川町上町の門川さくらんぼ保育園(古賀正之園長)である。午前10時〜午後6時。入場無料。同展実行委員会主催。ソープさんは、苦勞



画家マッケンジー・ソープさん

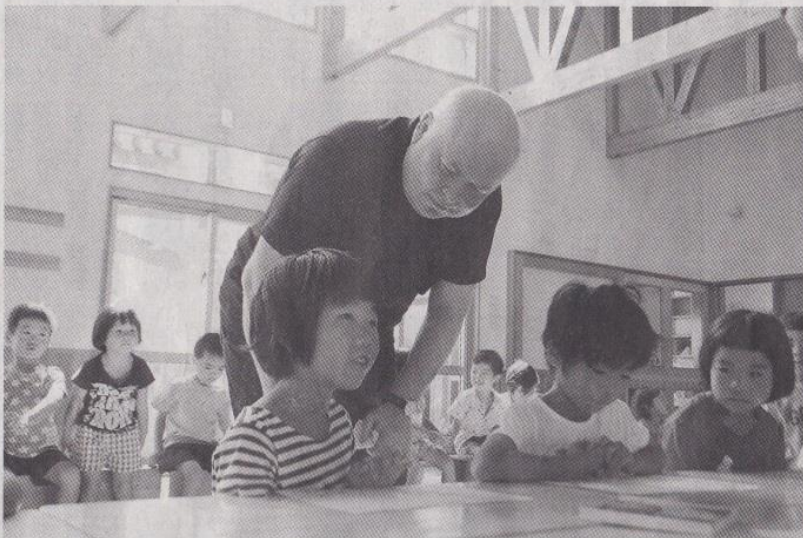
しながらも絵画の世界に光を見だし、2000年にイギリスの画廊組合1700社からベストセラー・アーティストに選出された。自身の体験を生かし、各国の慈善団体と絵画展を開くなど、障害のある子どもたちに生きる勇気と希望を与え続けている。

同展では新作を含め原画、版画、スカルプチャー(彫刻)を約50点展示し、愛、希望、喜びのメッセージあふれるソープさんの世界を紹介する。益金の一部は熊本地震の義援金として寄付される。8日には姉妹園の認定こども園にじのね(同町栄ヶ丘)をソープさんが訪問、園児たちと絵画を共同制作する予定。問い合わせは同展実行委員会(☎門川63・1624、門川さくらんぼ保育園内)。

## 画家マッケンジー・ソープさんと交流

### 門川にじのね園児が絵の世界へ

ディスプレイという学習障害を乗り越え、愛や希望のメッセージを込めて世界的に活躍しているイギリス人画家マッケンジー・ソープさん(61)が8日、門川町栄ヶ丘の認定こども園にじのね(川崎孝子園長、園児58人)を訪れ、絵を描くことを通して年長児と楽しく交流した。ソープさんは苦勞しながらも絵画の世界に光を見だし、2000年にイギリスの画廊組合1700社からベストセラー・アーティストに選出された。自身の体験を生かし、各国の慈善団体と絵画展を開くなど、障害のある子どもたちに生きる勇気と希望を与え続けている。



「自分の中にいる動物について話してみよう」。絵を通して園児と交流するマッケンジー・ソープさん

日、年長児12人にバスデルクレヨンを使って「自分の中にいる動物を描いてみよう」と提案。フクロウやロバなど、さまざまな動物の鳴き声や動きをまねて園児たちを笑わせながら「私の中にはたくさん動物がいる。みんなの中にはどんな動物がいるかな」と投げ掛けた。また「いろいろな色を使ってみよう」音が聞こえるような絵を描いてみよう」などと語りかけ、楽しく絵の世界に促した。堀井蒼太郎君(5)はライオンをはじめ、チョウチョ、ウサギ、ゾウ、トビなど、たくさん動物を画面いっぱい描いた。ソープさんから「一番集中して頑張っていた」と褒められると、うれしそうにはかんでいた。「絵のうまい、へたではなく、子どもたちの楽しむ姿を見たかった。何でも一生懸命に取り組めば必ず認められる、やろうと思えば何でもできる」ということを子どもたちに伝えたい。最後に、園児たちから折り紙で作った花束などをプレゼントされると、鼻を近づけ「うん、良い匂いだ」と喜んでいました。

## ソープさん絵画展

あすまで門川さくらんぼ保育園

希望、喜びのメッセージあふれるソープさんの世界を紹介している。問い合わせは同展実行委員会(☎0982・63・1624、門川さくらんぼ保育園内)。